

動作法にふれる、学ぶ

～‘こころのからだ’に働きかける心理援助法～

動作法は人の動作という視点から意識と身体を束ねるこころの活動に注目した、他に類を見ない心理援助法です。従来の「分かる」こと中心から「為す」こと中心の援助へと心理臨床の軸を移した動作法は、動作課題を通じてクライアントのリアリティに直接援助を届け「自己という確かさ」の回復を促すことができます。

医療・教育・産業・福祉・司法等の多岐の分野において、言葉を越えた心理臨床の方法論として活かされています。「With CORONA」となった今、気づけないデイリーストレス、更に複雑化するトラウマからの回復やストレスマネジメントなど、心身に不調を抱える方々への援助が求められています。臨床動作法を回復支援として活用しようとされる心の健康育成・回復に携わる職種にある方の参加をお待ちしています。また、周囲の方々に臨床動作法の実際に触れたいセラピストにも御紹介いただければ幸いです。

【ふおりせプログラム 2022(通年研修)】

本研修会は日本臨床動作学会資格認定員会規則に則った研修として開催いたします。

受付 9:30 ~ 10:00 ~ 12:30 ※臨床心理士資格認定協会への申請を予定

対象：概ね50時間以上の実技研修経験があり、動作法を臨床に活用されている方を対象としたコース。

主催：ふおりせ心理ストレス相談室 〒520-0835 滋賀県大津市別保1丁目8-20 - 508
JR石山駅 (JR京都13分・JR大阪43分[新快速]) 下車徒歩8分

共催：関西臨床動作学研究会 心理教育相談室 そふいあ・らぼ

研修講師：宮脇宏司 (当相談室代表 公認心理師・臨床動作学講師・臨床心理士)

研修講師：大石敏朗 (そふいあ・らぼ代表 公認心理師・臨床動作学講師)

研修講師：吉永弥生 (静岡県教育委員会 公認心理師・臨床動作学講師・臨床心理士)

Webinar: Zoom開催のため、開催会場まで足を運ぶ必要はありません。毎回、動作法のトピックの配信と動作セッションの実際を視聴し、「見立て」と「援助仮説」を中心に解説し、質疑応答と振り返りで臨床実践力の向上を目指します。

開催日時: (予定) 実践(中級・上級)コース: 10:00~12:30

第1回	5月22日(日)	第6回	10月16日(日)
第2回	6月19日(日)	第7回	11月20日(日)
第3回	7月17日(日)	第8回	12月18日(日)
第4回	8月28日(日)	第9回	1月22日(日)
第5回	9月18日(日)	第10回	2月19日(日)

定員：40名程度 (最大対応可能数70名)

参加費：32,000円 (臨床実践<中級・上級>コース) ※関西臨床動作学研究会会員は30,000円

※ 関西臨床動作学研究会への入会については、kscd.info@gmail.com までお問い合わせ下さい。

参加申し込み・お問い合わせ：参加ご希望の方は、E-mailにて、表題に「ふおりせ通年研修2022申込」とお書きの上、E-mailで連絡ください。関西臨床動作学研究会ホームページからも申し込みます。

E-mail:forelise.info@gmail.com または、<https://www.kansai-dohsa.jp/> ふおりせプログラムのタグから

申込み締切り：4月末日 原則として申込み順に受け付けますが、研修コース等の調整のため参加の可否については3月末に参加費の払い込み方法などと併せて御連絡いたします。